

はじめに

野生鳥獣被害は、営農意欲の減退、耕作放棄・離農の増加、森林の下層植生の消失等による土壌流失、希少植物の食害、車両との衝突事故等をもたらしており被害額として数字に表れる以上に農山漁村に深刻な影響を及ぼしています。そのため、被害防止等を目的とする捕獲が行われていますが、被害防止のために野生鳥獣の捕獲を進めるだけでなく、地域資源(ジビエ※)として利用し、農山村の所得に変えるような、有害鳥獣をマイナスの存在からプラスの存在に変える取組を地域で進めていくことが重要です。

※ジビエとは、食材となる野生鳥獣肉のこと(フランス語でジビエ(gibier))

野生鳥獣のジビエへの利活用を推進するにあたっては、供給(捕獲・処理加工)・流通・消費の各段階において、取組事例や課題等を共有し、関係者が一体となって取り組むことが必要です。そのため、九州農政局鹿児島県拠点では、特に消費者の皆様がジビエを身近に感じ、食材として認知してもらえるよう、野生鳥獣の生息や捕獲の状況、県内のジビエ処理加工施設の取組、ジビエ商品が購入できる店等を取りまとめた「鹿児島県内のジビエを食べよう」を作成しました。この情報が、ジビエの需要拡大の一助となれば幸いです。

本冊子作成に御協力いただいた方々に、感謝を申し上げます。九州農政局鹿児島県拠点は、今後も現場と共に課題解決に向けて努めてまいります。